



# ねこの広場

社会福祉法人 岡山こども協会 障がい児サポート 根っこの広場

あかいは児童発達支援センター（もみじの家・こぶしの家・かりんの家・てつなぎ・わたぼうし）

〒709-0802 赤磐市桜が丘西 10-2-16

放課後等デイサービス あんずの家

〒709-0721 赤磐市桜が丘東 6-6-704

あんず	こぶし	もみじ
5月	5月	5月
12日(水)避難訓練	24(月)避難訓練	22日(土)土曜療育 ※要申込(来年度1年生になるお子さんと保護者対象)
8、29日(土)開所日		24日(月)避難訓練
		29日(土)個別懇談・土曜療育 ※7~9月、1~3月生まれの利用児対象
6月 ※希望者懇談月間	6月	6月
15日(火)避難訓練	15(火)避難訓練	5日(土)個別懇談・土曜療育 ※7~9月、1~3月生まれの利用児対象
5、19日(土)開所日		16日(水)避難訓練
		19日(土)土曜療育 ※年長児以外対象

## お知らせ

各事業所でのこどもたちの様子をホームページにて紹介していますので是非ご覧ください。

「パスワードが分からない」「写真掲載不可にしていたけど載せてもいいよ」など何かありましたら職員までお声掛けください。



## 今月の根っこ

根っこの広場にちなんで  
毎月根っこを紹介します。



色づきをしっかりと支える  
もみじの根っこ

もみじの根は、広く張るのが特徴です。そんな風にどっしりと、日々のこどもたちの成長を支えたいですね。

## 知って Happy!

### リフレーミング

「リフレーミング」とは、後ろ向きな考えを前向きに置き換えることです。

たとえば、

ほくはなんでこんなに  
“落ち込みやすい”んだ



“落ち込みやすい”という性格も、リフレーミングすると、

ほくは“深く物事を思い”、“自分を謙虚に受け止め”られるんだ



と、考えることができます。

違った見方をすることで、新たな発見に出会えるかも!?

このコーナーでは、そんな「リフレーミング」を紹介していきます。



## 編集後記

今年度は毎月、月初めにお便りを発行する予定です。こどもたちの様子や療育の様子を分かりやすく紹介していけたらと思います。

田村 奈美

## 「人間なもの」

春に入所してきたこどもたちも、少しずつ新しい生活に慣れてきた頃でしょうか。若葉のようなこどもたちを見てみると、いつもすくすくと育ててほしいと願わずにはいられません。

もともと、こどもは本来何でもしたがるものです。それが、大きくなるにつれてだんだんと新しいことに手を出そうとしない子が増えていくことを、いつも残念だなと感じています。

こどもが新しいことをしたくなくなる原因は、失敗したときに叱られたり、それを指摘されたりしたことがあるからです。誰かの前で恥をかくのは恥ずかしい、だからもうしない、そんな循環になっていくと、どんどん世界が狭くなってしまいます。

小学校でも、授業中発表することを嫌がる子がたくさんいます。それは「まちがえたくない」からです。「いやだ」「できない」と簡単にいう子がとても多くいます。まちがえることは当たり前だよ、と導いていけばどんどん学びが深くなっていくのに、もったいないことです。

こどもが小さいうちはぜひ、まちがうことや失敗することをどんどんさせてほしいと思います。昔、エジソンが電気を発明したとき「何千回も失敗したのによく続けられましたね。」と聞かれたそうです。そのとき彼はこう答えたと言います。「私は一度も失敗したことはない。ただ五千通りのやり方をしてみただけだ」と。

成功する人は自分がしていることを失敗とは捉えず、色んなやり方をしていると捉えています。こどもたちにはぜひ、こんなプラス思考を伝えたいものだと思います。大人になると仕事では失敗が許されません。それだけにいつも息つく暇もないくらいたくさんの仕事を抱え、ストレスを感じながら仕事に追われています。それでも、時にまちがうことがないとは言えません。そんなときにはお互いを責めるのではなく、そこから一緒に学ぼうよ、とあたたかく声かけをしてあげられたら、誰もが救われるのではないかと思います。

人間は完全な存在ではありません。でもなぜか他人や周りの人には、厳しく追及してしまう生き物のようです。それはそうだろうと思いますが、せめて自分が一つでも心豊かに行動できたら、明るい笑顔の輪が広がるかもしれないなあ、と澄み渡った空を見ながら思ったひとときでした。その昔相田みつをさんの書を思い出しました。

「失敗したっていいじゃない、人間なもの」……。私は人間そのものです。



あんずの家 所長 杉井 康志



根っこを育てる  
みんなの広場



ホームページ

## こぶしの家

『手順に沿って』

こいのぼりを製作しました。手順書に沿いながら、完成を楽しみに、作り進めることができました。どこに、どのようのりやシールを貼ればよいかなどについても、真剣に手順書を確認する姿も見られました。一人ひとりが安心して、活動を楽しめるための支援を考えたいと思います。

土屋 勇氣



散歩先の遊具で、人間こいのぼりに挑戦。子どもたちと一緒に、職員もやってみました。いくつになってもあそび心を持ってほしいですね♪



## あんずの家

『見本通りにできるかな』

見本となる絵を見ながら 1 つずつピースを並べています。位置が合っているか、「これは(左から)4 個目」など細かく確認しています。1 つでもピースの位置がずれてしまうと手本通りにはならないこの作業。手と目の協応や集中力が養われ、がんばった分だけ完成した時の達成感も一段と増すようです。

岡野 由希



最近の子どもたちのフームは砂場での落とし穴づくり。完成した穴で、誰に落ちてもらうか考えている子どもたちの顔にはワクワク感が溢れています。安全に気を付けながら、楽しみたいと思います。

ホームページ



# 生きる力を育もう

## もみじの家

『日頃の行いの大切さ』

「手をあらおう」と声をかけたり、手をこすり合わせる動作をしたりと一人ひとりに合わせた方法で伝えると自ら水道に向かい、手を洗い始める姿があります。

最後に水で流す際、洗い残しが無いか確認しながら流す姿があります。日頃の流れがしっかりと身についています。

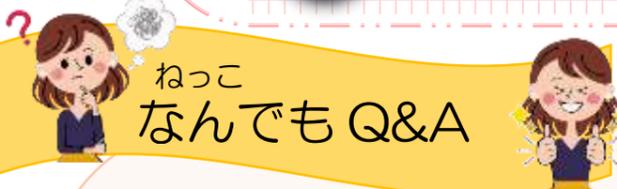
岩本 かおり



4月末より仲間入りしました。  
大下鎮佳(おおしたしずか)です。  
よろしくおねがいします。



ホームページ



## ねっこ なんでも Q&A

Q：新年度になって新しい環境（場所や人など）に落ち着かない様子です…。

学校や園の様子を先生に聞いてみると「頑張っていますよ」「お友だちと楽しそうにしていますよ」と言われるので外では頑張っているのだと思うのですが、家に帰ってくるとちょっとしたことで戸惑い、パニックになりやすいです。

安心して新しい環境に慣れていくにはどうしたらいいのでしょうか？ 何か家でできることはありますか？

A：『発達に課題がある』お子さんの特徴として、環境適応が苦手に変化に弱いと言われることがあります。【春】というシーズンは、変化だらけ（気温・日差し・日照時間・クラスの場所・友だち・先生 etc）です。子どもたちが「変わらない」と思い込んでいた環境が、（大げさにいうと）すべて変わってしまったというのが【春】です。本人にとっては、天と地がひっくり返ったようなそんな状況かもしれせん。

こういう時は、子どもたちの（興奮・多動・衝動）の高まりがみられ、生活リズムも崩れがち。そして、ご家族のご心配もピークになりそうです。

そこで、ご家庭での養育ポイントは、◎いつもと変わらぬ笑顔で接すること、そして、◎安心して生活できるための、お気に入りのいつものグッズ(おもちゃ・好きな手触りの物・食べ物)などをたっぷり大サービスすること。さらに、◎一日のスケジュールや次にすることなどを丁寧に、こどもにわかる方法で伝えることができるとよいですね。

